

## 自転車の安全利用

### 問32 自転車の利用状況

#### 問32-1 ヘルメットの着用状況

#### 問32-2 損害賠償保険の加入状況

あなたは、通勤、通学、仕事、趣味など何らかの理由により、自転車を利用していますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 週1回以上、自転車を利用している	25.1
2 月1～2回くらい自転車を利用している	7.3
3 ほとんど自転車を利用していない	23.0
4 全く自転車を利用していない	44.7

(問32-1)

あなたは、自転車に乗る時はヘルメットを着用していますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

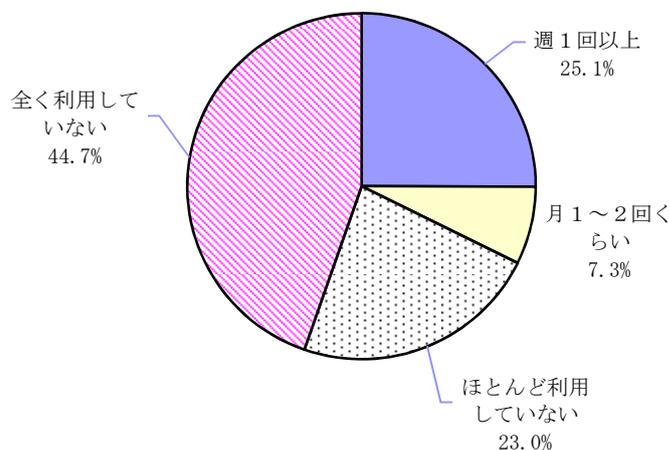
	(回答者=359人)	(%)
1 自転車に乗る時は、いつもヘルメットを着用している	2.8	2.8
2 自転車に乗る時は、だいたいヘルメットを着用している	3.1	3.1
3 自転車に乗る時でも、ほとんどヘルメットを着用していない	15.9	15.9
4 自転車に乗る時でも、全くヘルメットを着用していない	78.3	78.3

(問32-2)

自転車乗車中の交通事故で“相手”（歩行者等）を死傷させた場合に、高額の損害賠償を請求されるケースがありますが、あなたは、相手を死傷させた場合に備える損害賠償保険に加入していますか（ご自分の怪我等のみに備える保険は除きます）。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(回答者=345人)	(%)
1 加入している	28.7	28.7
2 加入していない	53.3	53.3
3 加入しているかどうか分からない	18.0	18.0

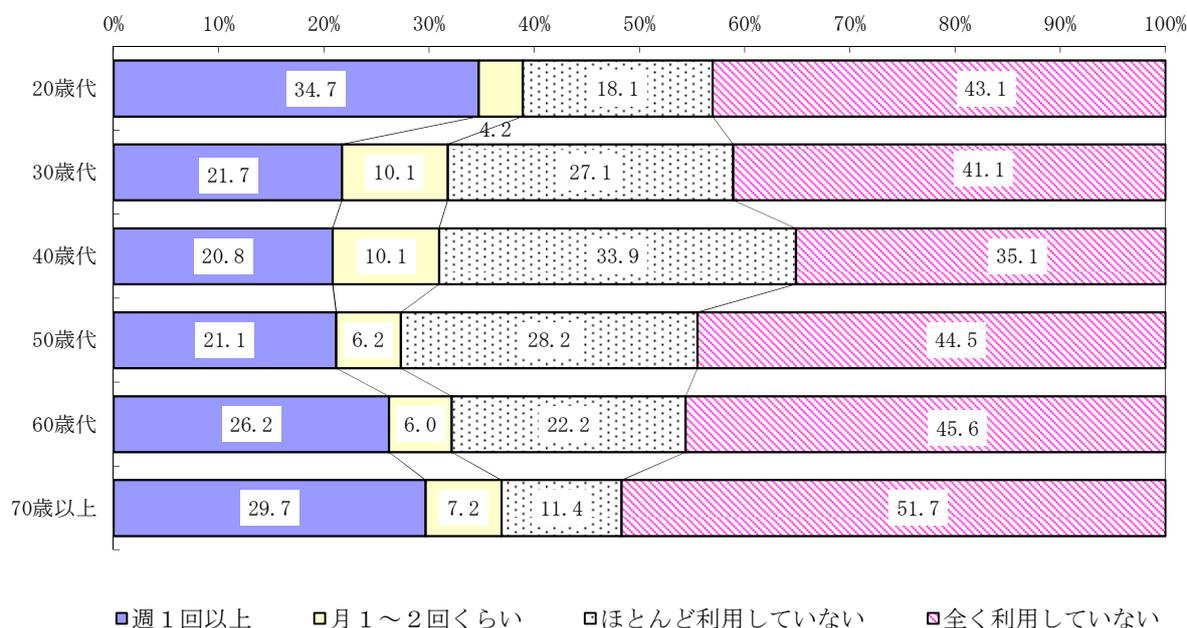
通勤、通学、仕事、趣味など何らかの理由により自転車を利用しているかを聞いたところ、「週1回以上、自転車を利用している」と答えた人の割合が25.1%、「月1～2回くらい自転車を利用している」が7.3%、「ほとんど自転車を利用していない」が23.0%、「全く自転車を利用していない」が44.7%となっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「全く自転車を利用していない」と答えた人の割合が多く、70歳以上（51.7%）で最も多くなっている。

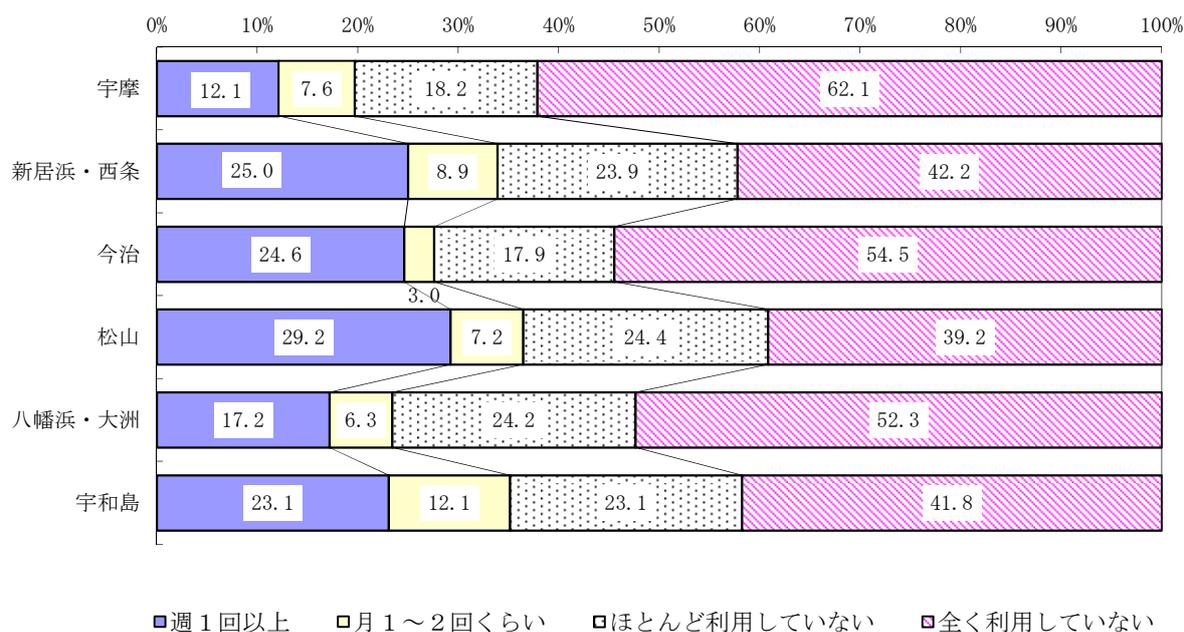
また、「週1回以上、自転車を利用している」と答えた人の割合は、20歳代（34.7%）で他の年齢層と比較して多くなっている。



### 【生活圏域別】

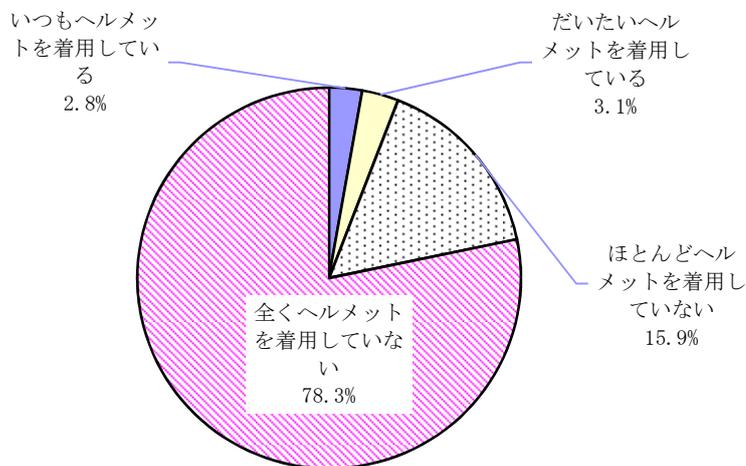
生活圏域別にみると、全ての圏域で「全く自転車を利用していない」と答えた人の割合が最も多い。

また、宇摩圏域では、「週1回以上、自転車を利用している」と答えた人の割合が他の圏域と比較して少なく、逆に「全く自転車を利用していない」は、他の圏域と比較して多くなっている。



## 《問32-1 ヘルメットの着用状況》

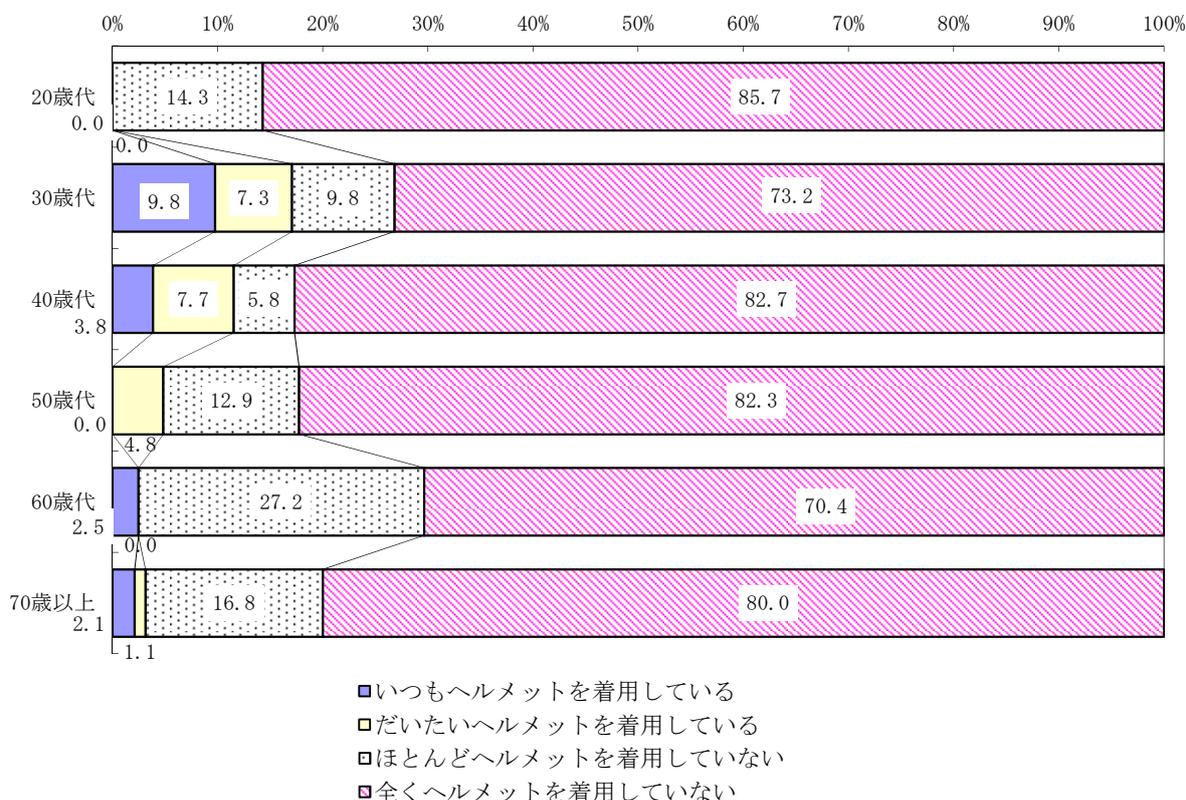
問32で「週1回以上利用している」、「月1～2回くらい利用している」と答えた人に、自転車に乗る時にヘルメットを着用しているかを聞いたところ、「自転車に乗る時は、いつもヘルメットを着用している」と答えた人の割合が2.8%、「自転車に乗る時は、だいたいヘルメットを着用している」が3.1%、「自転車に乗る時でも、ほとんどヘルメットを着用していない」が15.9%、「自転車に乗る時でも、全くヘルメットを着用していない」が78.3%となっている。



### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「自転車に乗る時でも、全くヘルメットを着用していない」と答えた人の割合が最も多い。

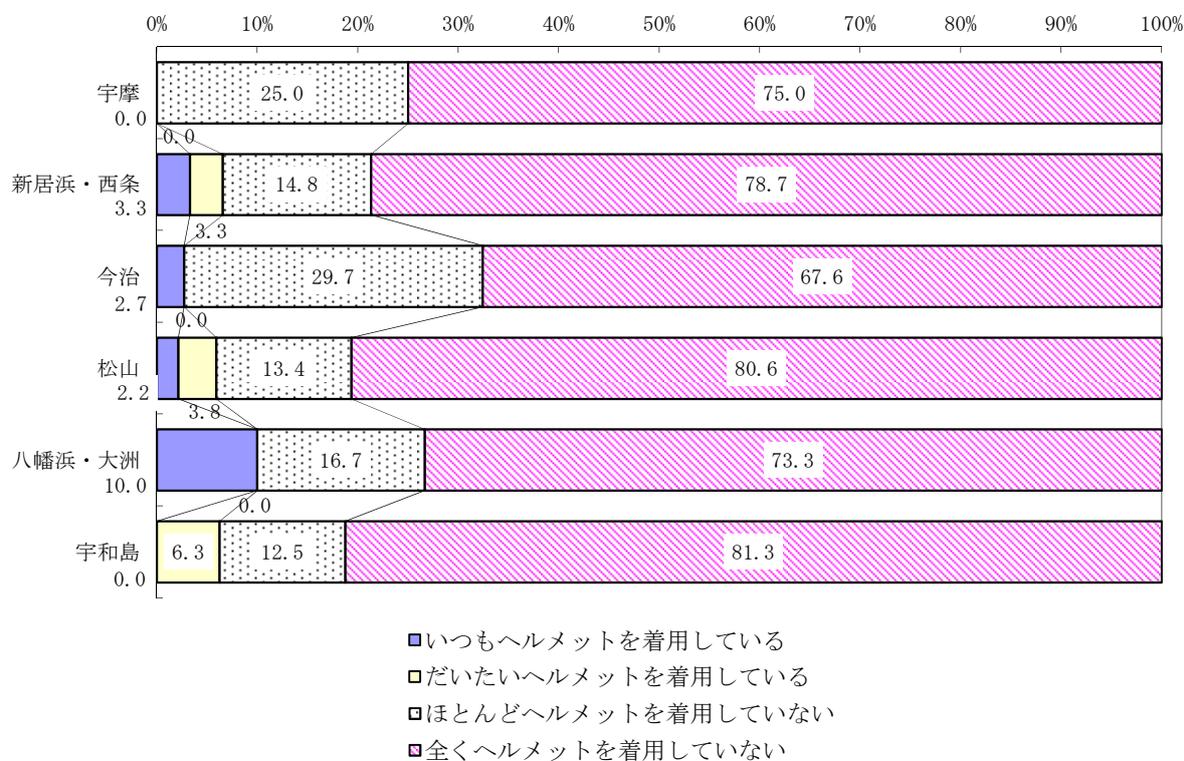
また、「自転車に乗る時は、いつもヘルメットを着用している」と「自転車に乗る時は、だいたいヘルメットを着用している」と答えた人の割合の合計は、30歳代（17.1%）及び40歳代（13.5%）で他の年齢層と比較して多くなっている。



### 【生活圏域別】

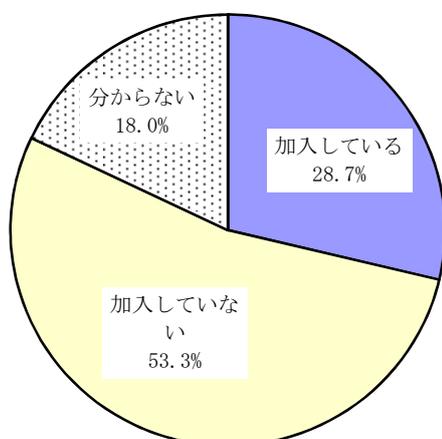
生活圏域別にみると、全ての圏域で「自転車に乗る時でも、全くヘルメットを着用していない」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「自転車に乗る時は、いつもヘルメットを着用している」と「自転車に乗る時は、だいたいヘルメットを着用している」と答えた人の割合の合計は、宇摩圏域で0.0%と他の圏域と比較して特に少なくなっている。



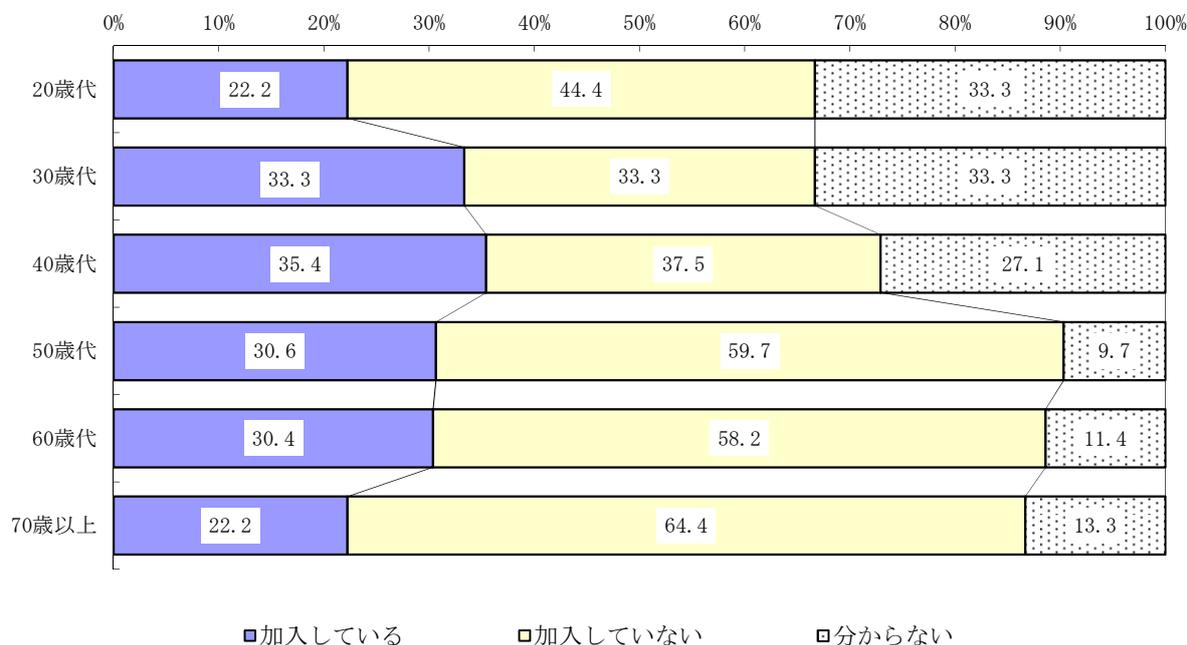
### 《問32-2 損害賠償保険の加入状況》

問32で「週1回以上利用している」、「月1～2回くらい利用している」と答えた人に、自転車乗車中の交通事故で相手を死傷させた場合に備える損害賠償保険（自分の怪我等のみに備える保険を除く）に加入しているかを聞いたところ、「加入している」と答えた人の割合が28.7%、「加入していない」が53.3%、「分からない」が18.0%となっている。



### 【年齢別】

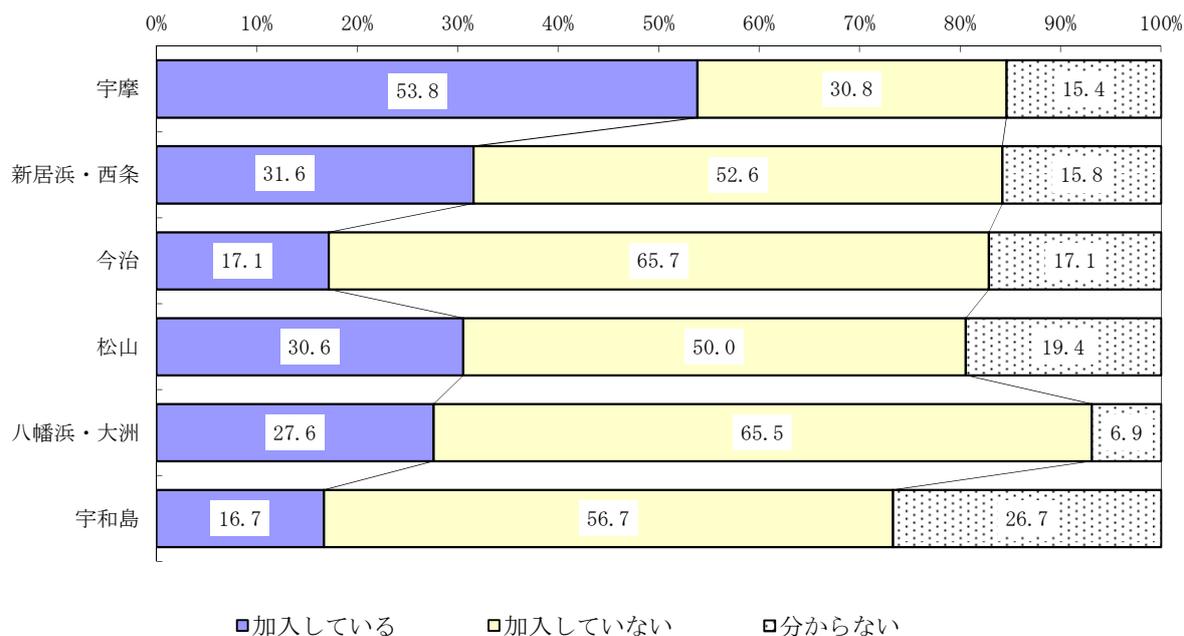
年齢別にみると、全ての年齢層で「加入していない」と答えた人の割合が最も多く（30歳代は「加入している」及び「分からない」と同率）、50歳代以上で他の年齢層と比較して多くなっている。また、「わからない」と答えた人の割合は、40歳代以下で多くなっている。



### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域は「加入している」と答えた人の割合が53.8%で最も多く、他の圏域は「加入していない」が最も多くなっている。

また、「分からない」と答えた人の割合は、宇和島圏域（26.7%）で他の圏域と比較して多くなっている。



**防災に関する意識**  
**問33 家具類の固定状況**  
**問33-1 固定していない理由**

あなたのお宅では、地震に備えて家具類などが転倒しないよう固定をしていますか。  
 次のの中から**一つ選んで**番号を○で囲んでください。

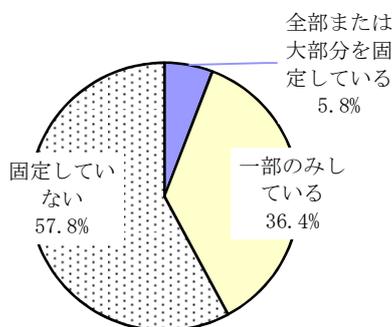
- |                   | (%)  |
|-------------------|------|
| 1 全部または大部分を固定している | 5.8  |
| 2 一部のみ固定している      | 36.4 |
| 3 固定していない         | 57.8 |

(問33-1)

家具類の固定をしていない理由は何ですか。次のの中から**二つまで選んで**番号を○で  
 囲んでください。

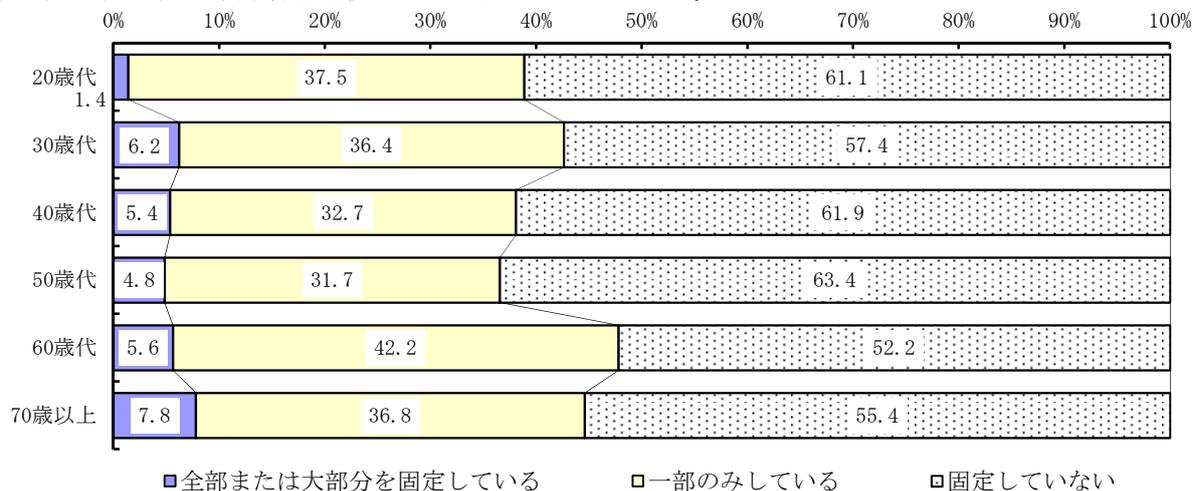
- |                                    | (回答者 = 635人) (複数回答) (%) |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1 手間がかかる                           | 41.6                    |
| 2 費用がかかる                           | 28.2                    |
| 3 固定の方法がわからない                      | 15.0                    |
| 4 借家・賃貸マンションのためできない                | 16.5                    |
| 5 建物や家具類を傷めてしまう                    | 5.0                     |
| 6 固定していなくても大丈夫だと思う                 | 17.2                    |
| 7 固定をしても被害は出ると思う                   | 19.5                    |
| 8 自分や家族が活着ている間は、地震は起こらないと<br>思っている | 3.6                     |
| 9 その他                              | 9.3                     |

地震に備えて自宅の家具類などが転倒しないよう固定をしているかを聞いたところ、「全部または大部分を固定している」と答えた人の割合が5.8%、「一部のみ固定している」が36.4%、「固定していない」が57.8%となっている。



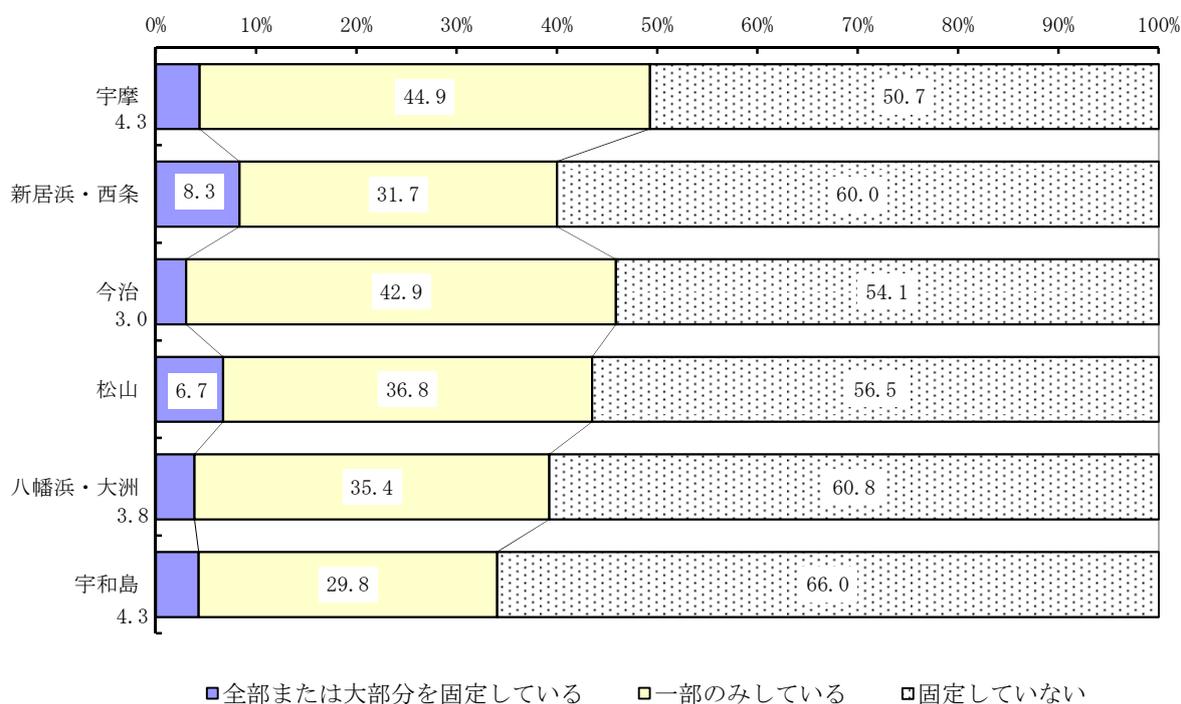
**【年齢別】**

年齢別にみると、全ての年齢で「固定していない」と答えた人の割合が最も多い。  
 また、「全部または大部分を固定している」と答えた人の割合は、全ての年齢で最も少なく、20歳代(1.4%)で他の年齢層と比較して特に少なくなっている。



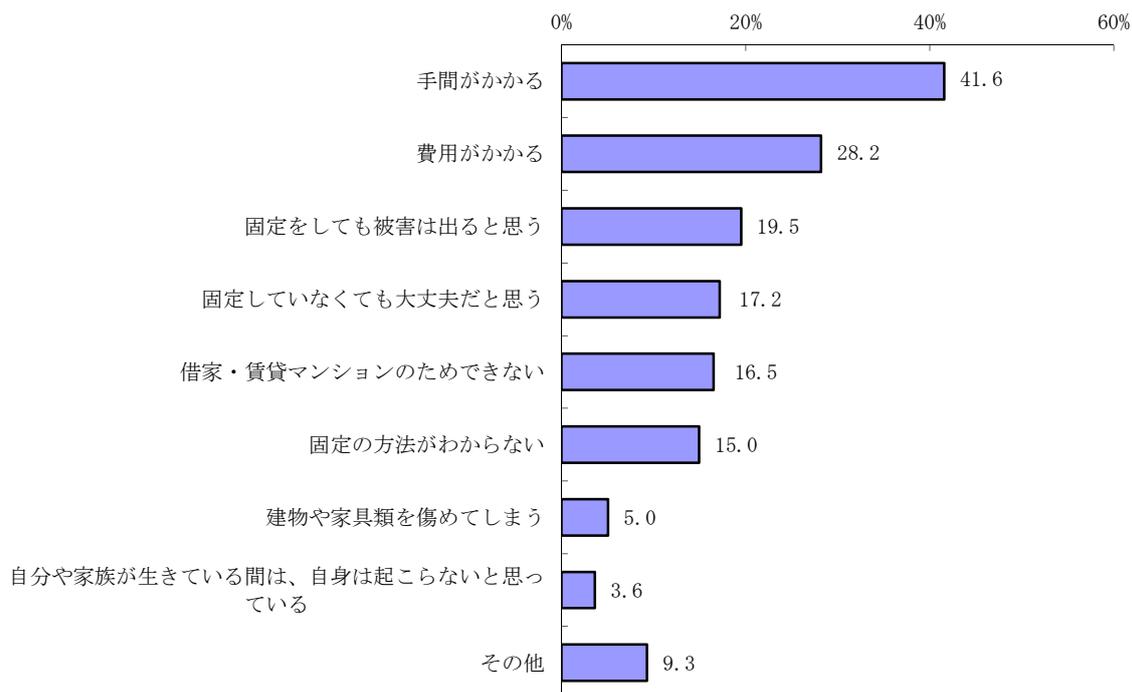
### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「固定していない」と答えた人の割合が最も多く、宇和島圏域（66.0%）で他の圏域と比較して多くなっている。



### 《問33-1 固定していない理由》

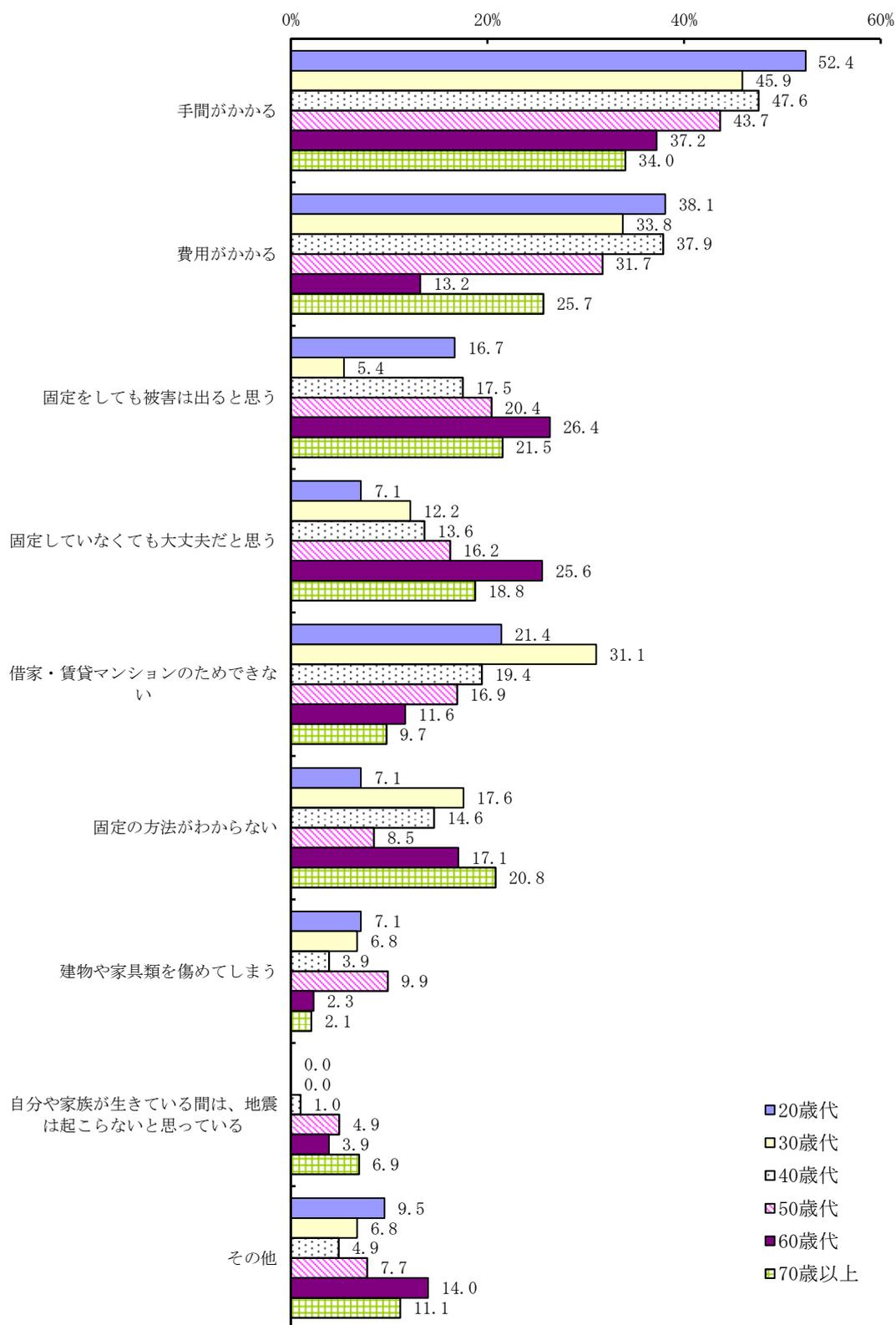
問33で「固定していない」と答えた人に理由を聞いたところ、「手間がかかる」と答えた人の割合が41.6%と最も多く、以下「費用がかかる」（28.2%）、「固定をしても被害は出ると思う」（19.5%）、「固定していなくても大丈夫だと思う」（17.2%）などの順となっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢で「手間がかかる」と答えた人の割合が最も多く、概ね年齢層が低くなるほど多くなっている。

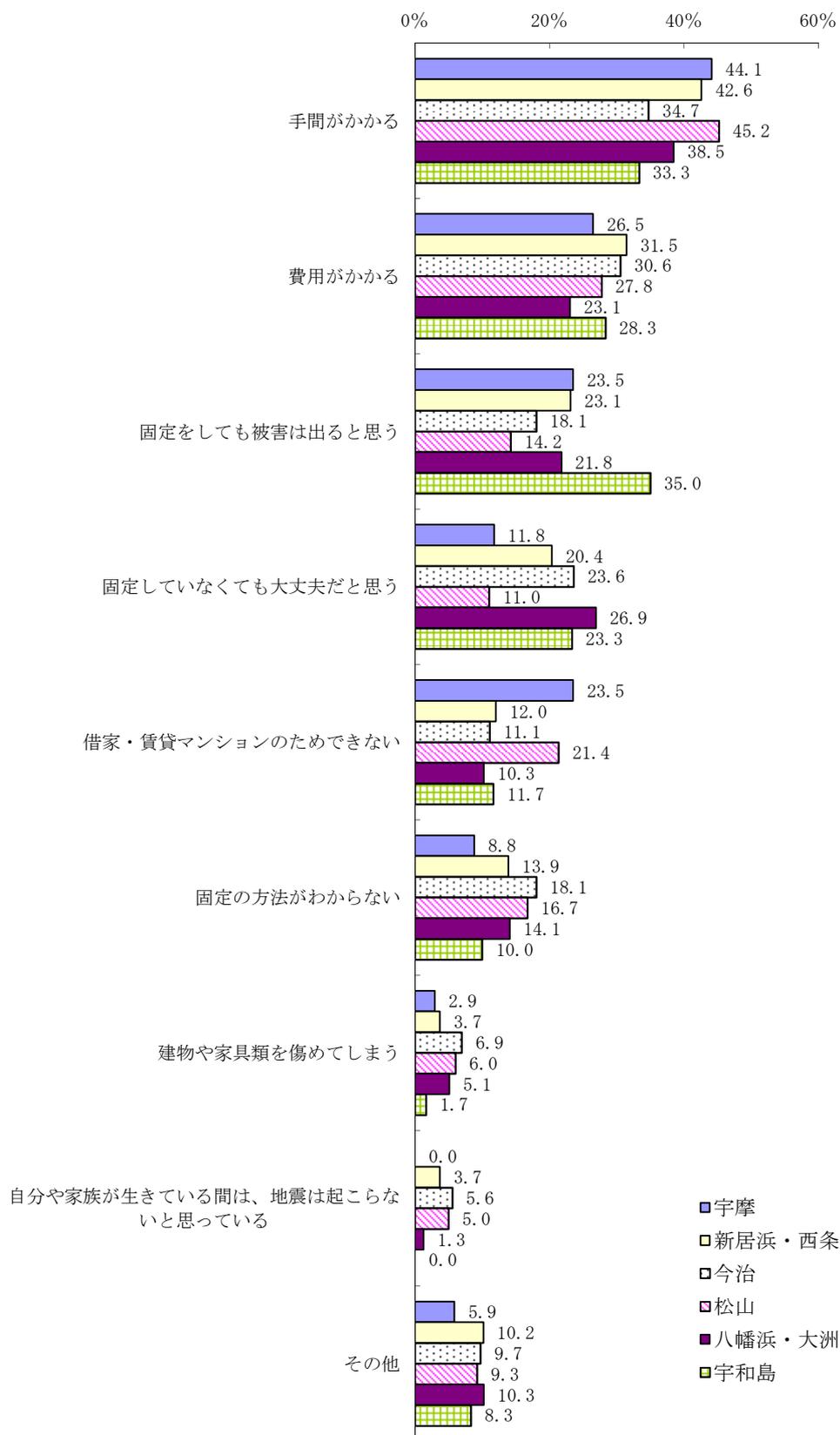
また、「固定していなくても大丈夫だと思う」と答えた人の割合は、60歳代（25.6%）で多く、概ね年齢層が高くなるほど多くなっている。



### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇和島圏域を除く全ての圏域で「手間がかかる」と答えた人の割合が最も多く、宇和島圏域では「固定をしても被害は出ると思う」が最も多くなっている。

また、「固定していなくても大丈夫だと思う」と答えた人の割合は、宇摩圏域（11.8%）及び松山圏域（11.0%）で他の圏域と比較して少なくなっている。



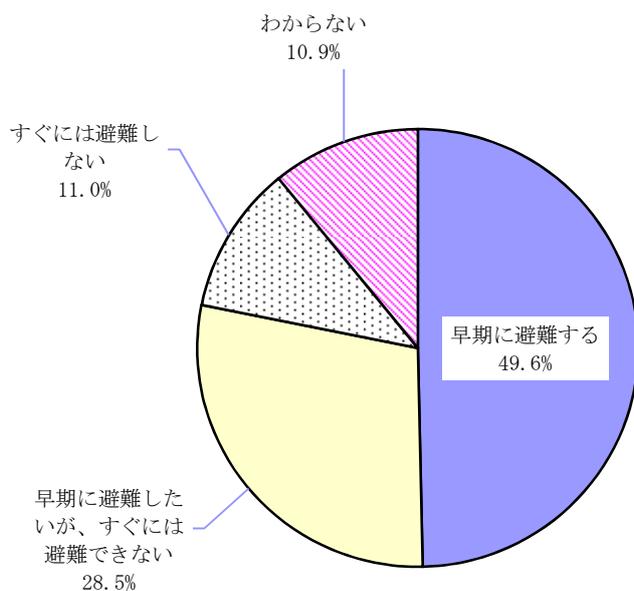
### 問33-2 地震・災害時の避難判断

あなたは、強い地震が発生したとき、又は、津波、洪水、土砂等の災害が差し迫ったとき、早期に避難（※）しますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 早期に避難する	49.6
2 早期に避難したいが、すぐには避難できない	28.5
3 すぐには避難しない	11.0
4 わからない	10.9

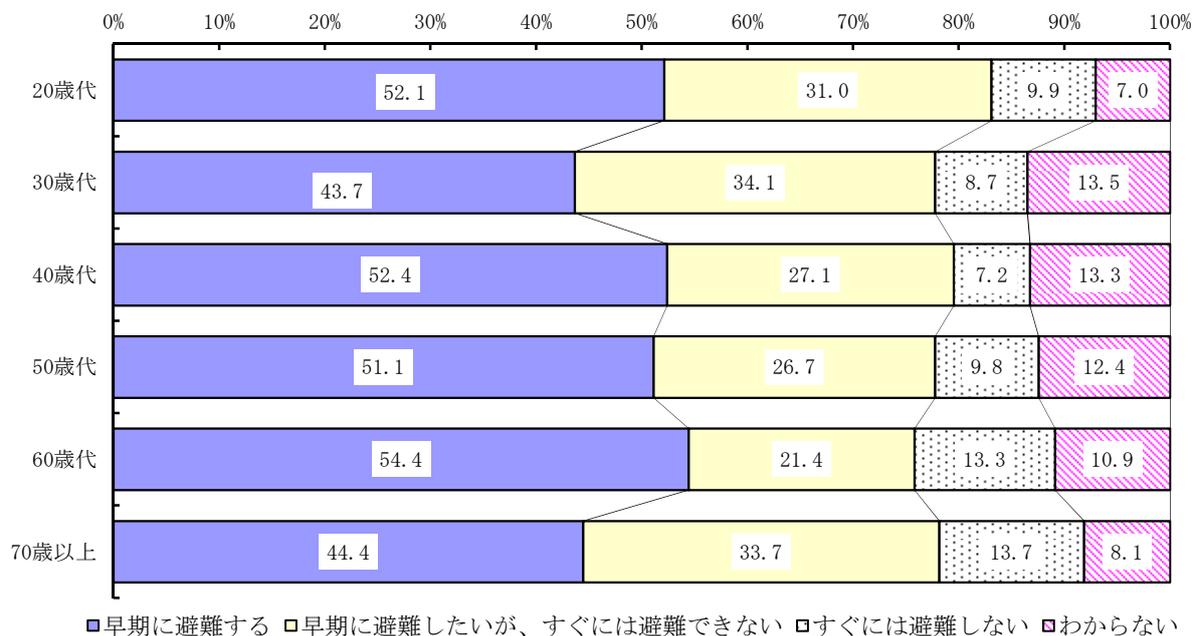
※早期避難：昼間の場合は概ね5分以内、夜間の場合は概ね10分以内に避難を開始することを目安とする。

強い地震が発生したとき、又は、津波、洪水、土砂等の災害が差し迫ったとき、早期に避難するかを聞いたところ、「早期に避難する」と答えた人の割合が49.6%、「早期に避難したいが、すぐには避難できない」が28.5%、「すぐには避難しない」が11.0%、「わからない」が10.9%となっている。



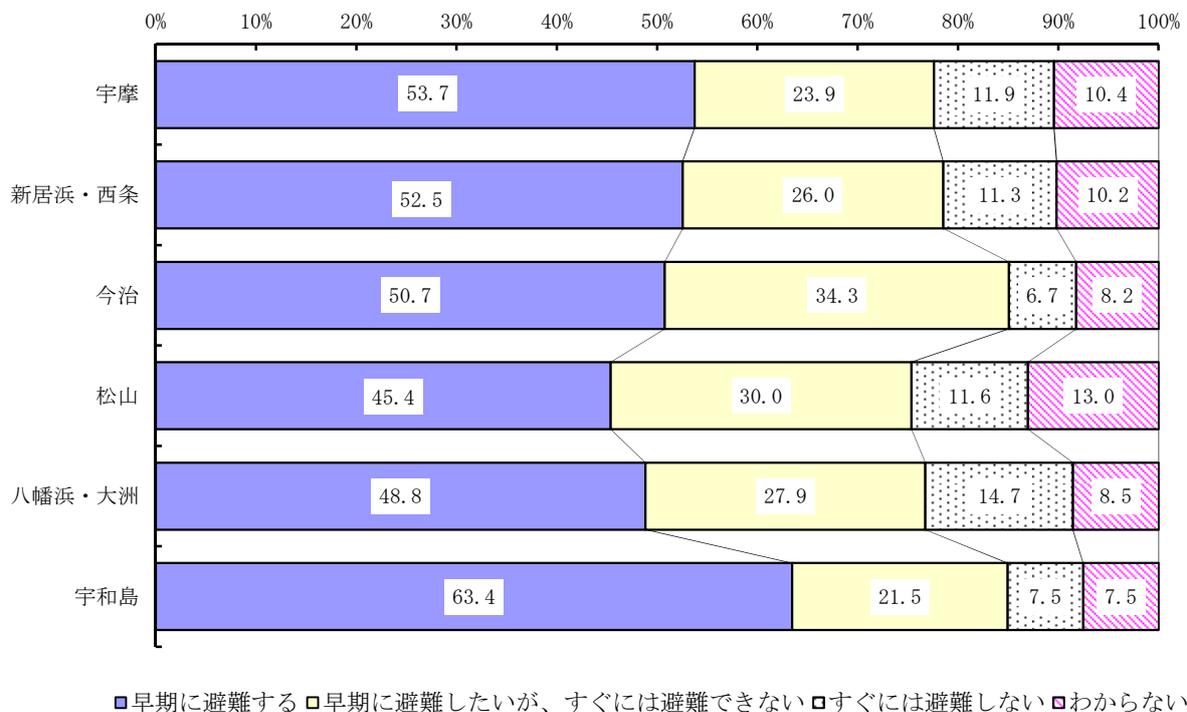
### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢で「早期に避難する」と答えた人の割合が最も多い。  
 また、「すぐには避難しない」と答えた人の割合は、60歳代（13.3%）及び70歳以上（13.7%）で他の年齢層と比較して多くなっている。



### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「早期に避難する」と答えた人の割合が最も多く、宇和島圏域（63.4%）で他の圏域と比較して特になくなっている。  
 また、「すぐには避難しない」と答えた人の割合は、今治圏域（6.7%）で他の圏域と比較して少なくなっている。



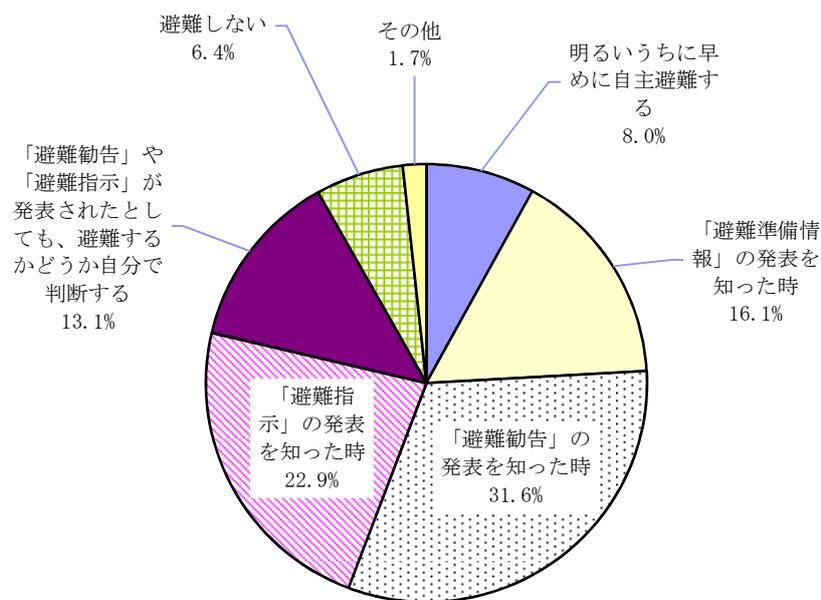
### 問33-3 台風時等の避難判断

あなたは、台風時などにどの段階で避難しますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
1 明るいうちに早めに自主避難する	8.0
2 「避難準備情報（※1）」の発表を知った時に避難する	16.1
3 「避難勧告（※2）」の発表を知った時に避難する	31.6
4 「避難指示（※3）」の発表を知った時に避難する	22.9
5 「避難勧告」や「避難指示」が発表されたとしても、避難するかどうか自分で判断する	13.1
6 避難しない	6.4
7 その他	1.7

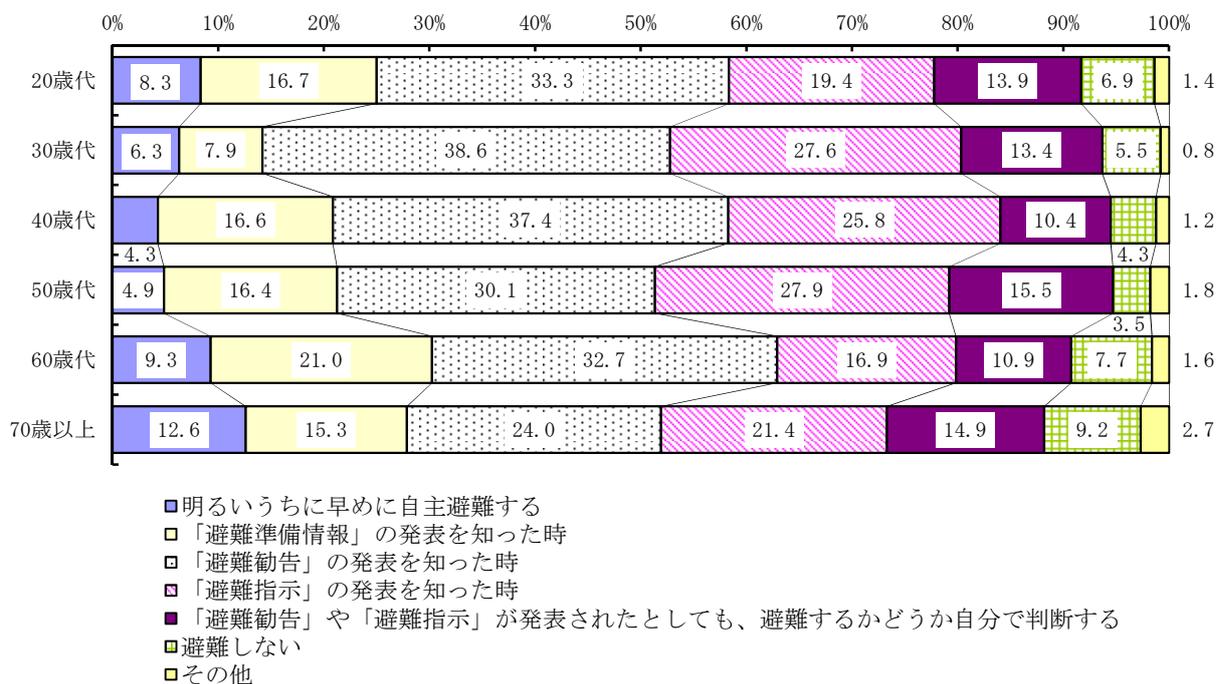
- ※1 避難準備情報：住民に対して避難準備を呼び掛けるとともに、特に避難行動に時間を要する者に対して、早めのタイミングで避難行動を開始することを求めるもの。  
 ※2 避難勧告：災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、市町村長が居住者等に対し、避難のための立退きを勧告すること。居住者等が勧告を尊重することを期待して、避難のための立退きを勧めるもの。  
 ※3 避難指示：被害の危険が目前に切迫している場合等に発せられ、「避難勧告」よりも拘束力強い指示。

台風時などにどの段階で避難するかを聞いたところ、「明るいうちに早めに自主避難する」と答えた人の割合が8.0%、「「避難準備情報」の発表を知った時」が16.1%、「「避難勧告」の発表を知った時」が31.6%、「「避難指示」の発表を知った時」が22.9%、「「避難勧告」や「避難指示」が発表されたとしても、避難するかどうか自分で判断する」が13.1%、「避難しない」が6.4%、「その他」が1.7%となっている。



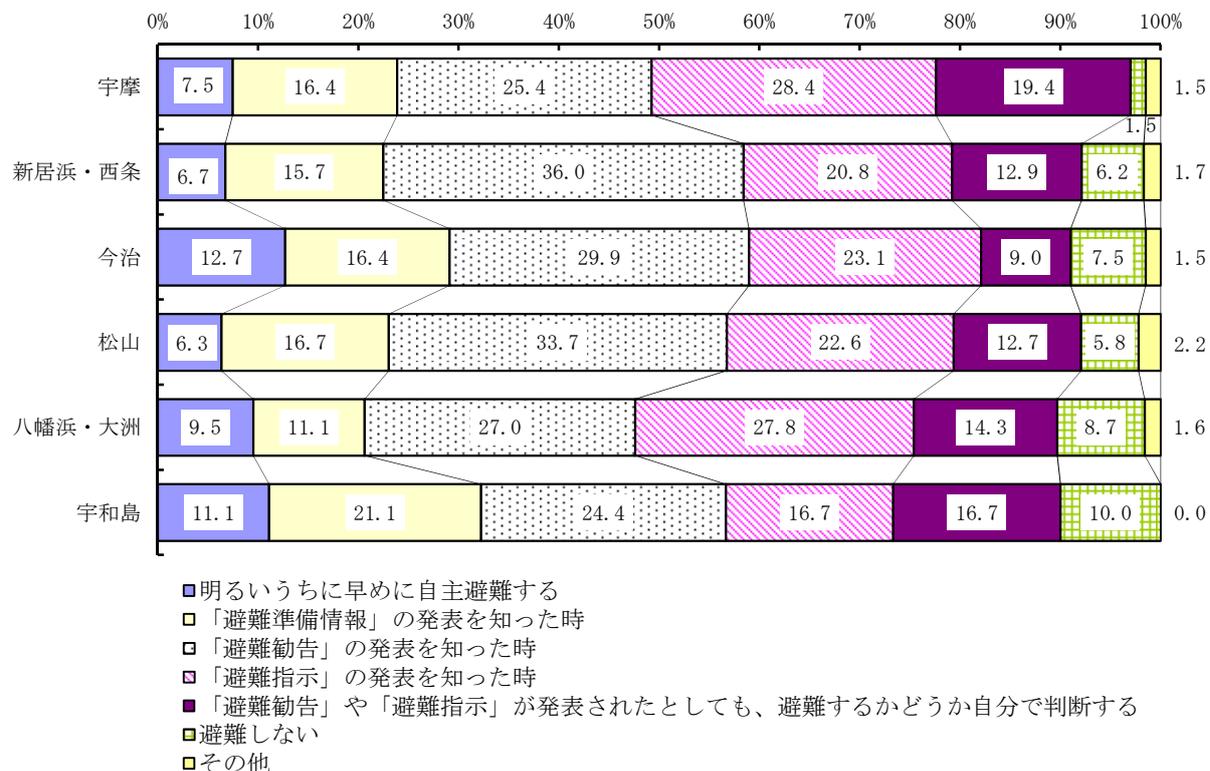
### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢で「「避難勧告」の発表を知った時」と答えた人の割合が最も多い。  
また、「明るいうちに早めに自主避難する」と答えた人の割合は、70歳以上（12.6%）で他の年齢層と比較して多くなっている。



### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、「「避難勧告」の発表を知った時」と答えた人の割合は、新居浜・西条圏域（36.0%）、今治圏域（29.9%）、松山圏域（33.7%）及び宇和島圏域（24.4%）で最も多く、「「避難指示」の発表を知った時」は、宇摩圏域（28.4%）及び八幡浜・大洲圏域（27.8%）で最も多くなっている。



## エコえひめ農産物

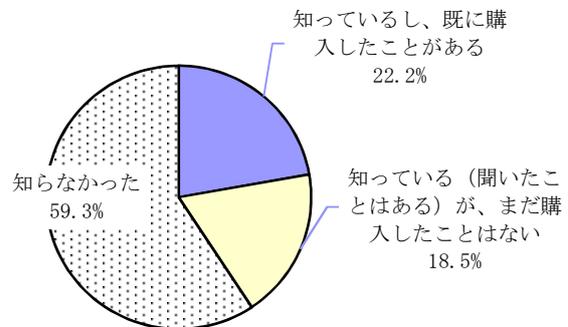
### 問34 エコえひめ農産物の認知度

「エコえひめ農産物」は、人にも環境にもやさしい農産物として、農薬と化学肥料を栽培基準から5割または3割以上削減して生産したものを、平成15年から県の制度に基づき認証したもので、次のマークを付けて販売しています。あなたは、この「エコえひめ農産物」をご存知ですか。また、購入したことがありますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。



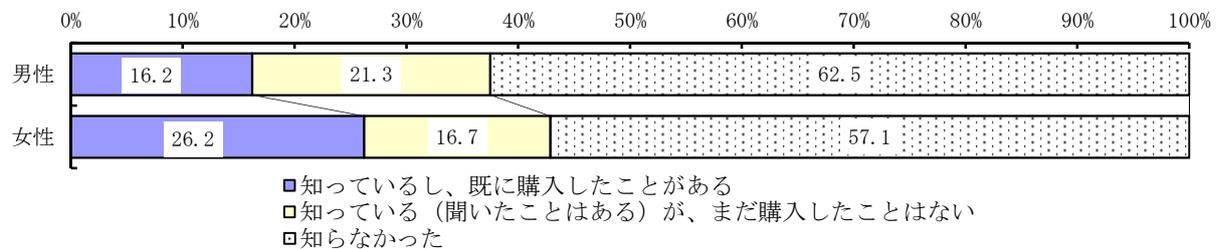
	(%)
1 知っているし、既に購入したことがある	22.2
2 知っている(聞いたことはある)が、まだ購入したことはない	18.5
3 知らなかった	59.3

「エコえひめ農産物」を知っているかを聞いたところ、「知らなかった」と答えた人の割合が59.3%と最も多く、以下「知っているし、既に購入したことがある」(22.2%)、「知っている(聞いたことはある)が、まだ購入したことはない」(18.5%)の順となっている。



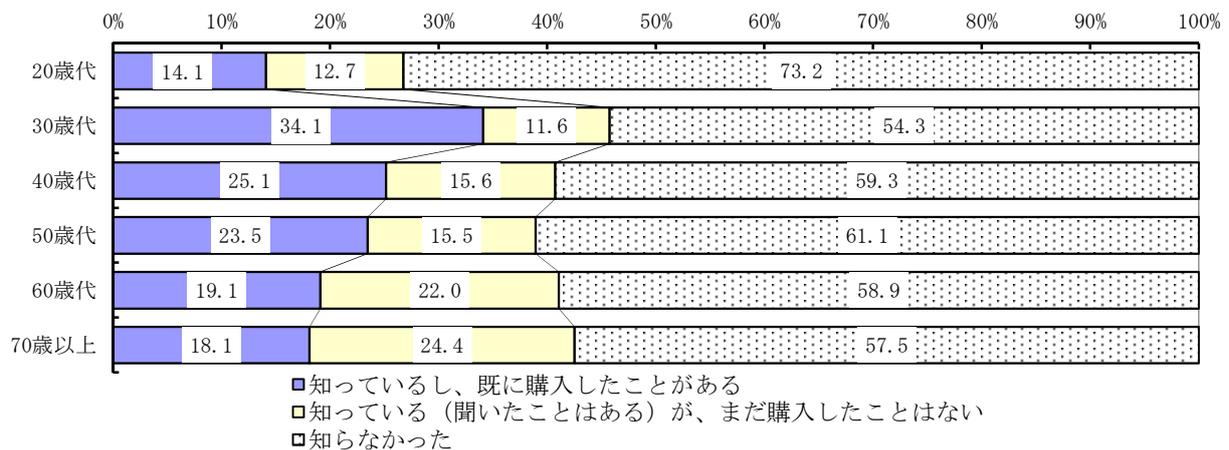
#### 【性別】

性別にみると、「知っているし、既に購入したことがある」と答えた人の割合は、女性(26.2%)の方が男性(16.2%)より10.0ポイント多く、「知らなかった」は、男性(62.5%)の方が女性(57.1%)より5.4ポイント多くなっている。



#### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「知らなかった」と答えた人の割合が最も多く、「知っているし、既に購入したことがある」は、30歳代(34.1%)で他の年齢層と比較して多くなっている。



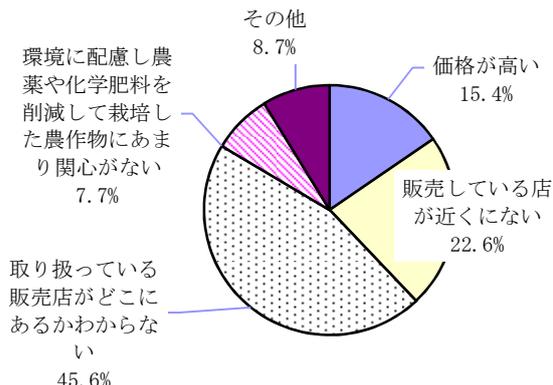
### 問34-1 購入したことがない理由

「エコえひめ農産物」のことは知っている（聞いたことはある）が、まだ購入したことはない理由について、最も当てはまるものを次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=195人) (%)

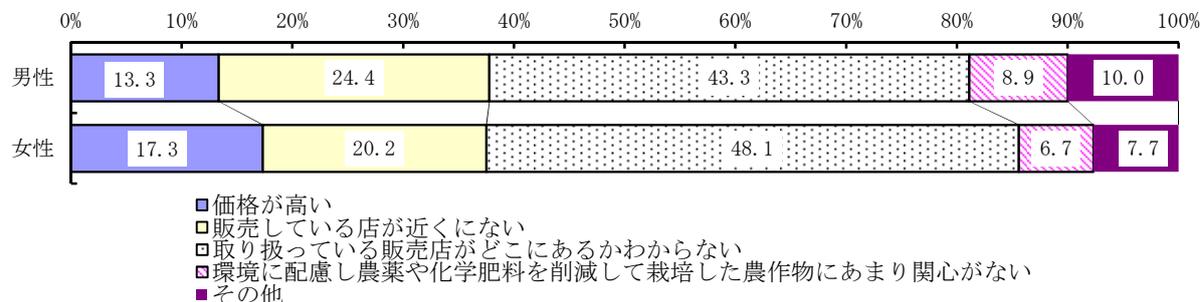
1 価格が高い	15.4
2 販売している店が近くにない	22.6
3 「エコえひめ農産物」を取り扱っている販売店がどこにあるかわからない	45.6
4 環境に配慮し農薬や化学肥料を削減して栽培した農産物にはあまり関心がない	7.7
5 その他	8.7

問34で、「「エコえひめ農産物」のことは知っている（聞いたことはある）が、まだ購入したことはない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「取り扱っている販売店がどこにあるかわからない」と答えた人の割合が45.6%と最も多く、以下「販売している店が近くにない」(22.6%)、「価格が高い」(15.4%)、「その他」(8.7%)、「環境に配慮し農薬や化学肥料を削減して栽培した農産物にはあまり関心がない」(7.7%)の順となっている。



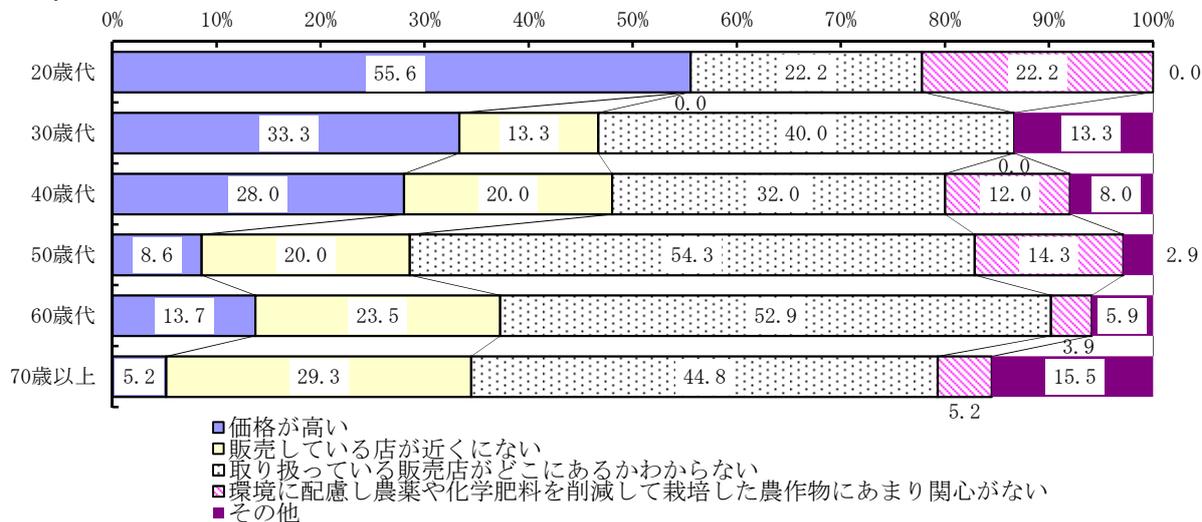
#### 【性別】

性別にみると、「価格が高い」と答えた人の割合は、女性(17.3%)の方が男性(13.3%)より4.0ポイント多く、「販売している店が近くにない」は、男性(24.4%)の方が女性(20.2%)より4.2ポイント多くなっている。



#### 【年齢別】

年齢別にみると、「価格が高い」と答えた人の割合は、20歳代(55.6%)で他の年齢層と比較して特に多く、「販売している店が近くにない」は、70歳以上(29.3%)で他の年齢層と比較して多くなっている。

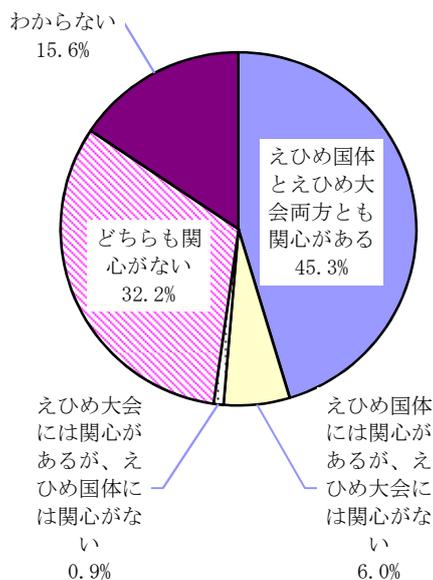


**えひめ国体・えひめ大会**  
**問35 えひめ国体・えひめ大会の関心度**

あなたは、平成29年（2017年）に開催される、第72回国民体育大会 愛顔（えがお）つなぐえひめ国体（以下「えひめ国体」という。）と第17回全国障害者スポーツ大会 愛顔（えがお）つなぐえひめ大会（以下「えひめ大会」という。）に関心がありますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

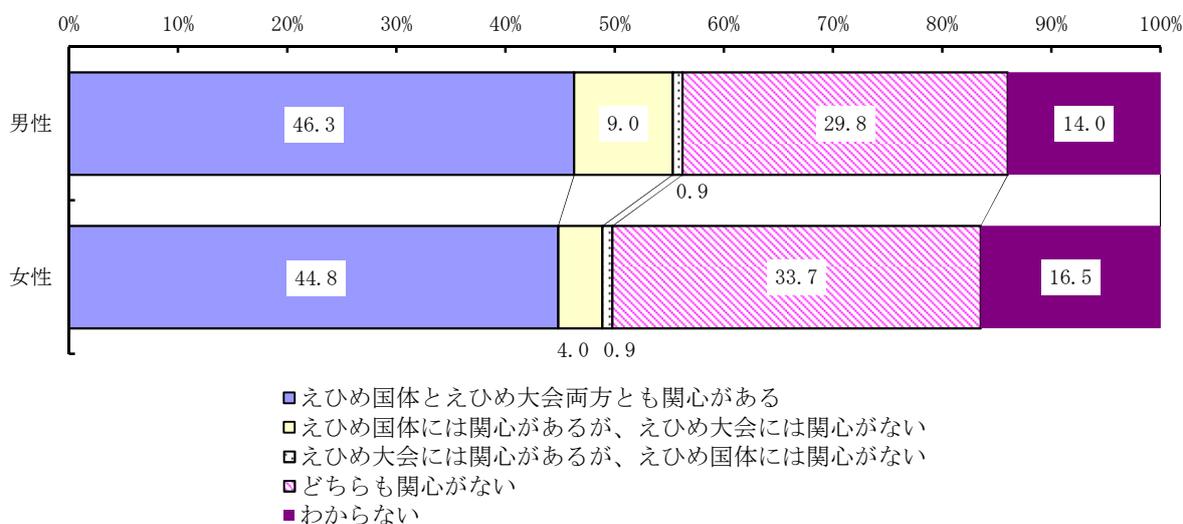
	(%)
1 えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある	45.3
2 えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない	6.0
3 えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない	0.9
4 どちらも関心がない	32.2
5 わからない	15.6

平成29年度（2017年）に愛媛県で開催される第72回国民体育大会（えひめ国体）と第17回全国障害者スポーツ大会（えひめ大会）に関心があるかを聞いたところ、「えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある」と答えた人の割合が45.3%で最も多く、以下「どちらも関心がない」（32.2%）、「わからない」（15.6%）、「えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない」（6.0%）、「えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない」（0.9%）の順となっている。



**【性別】**

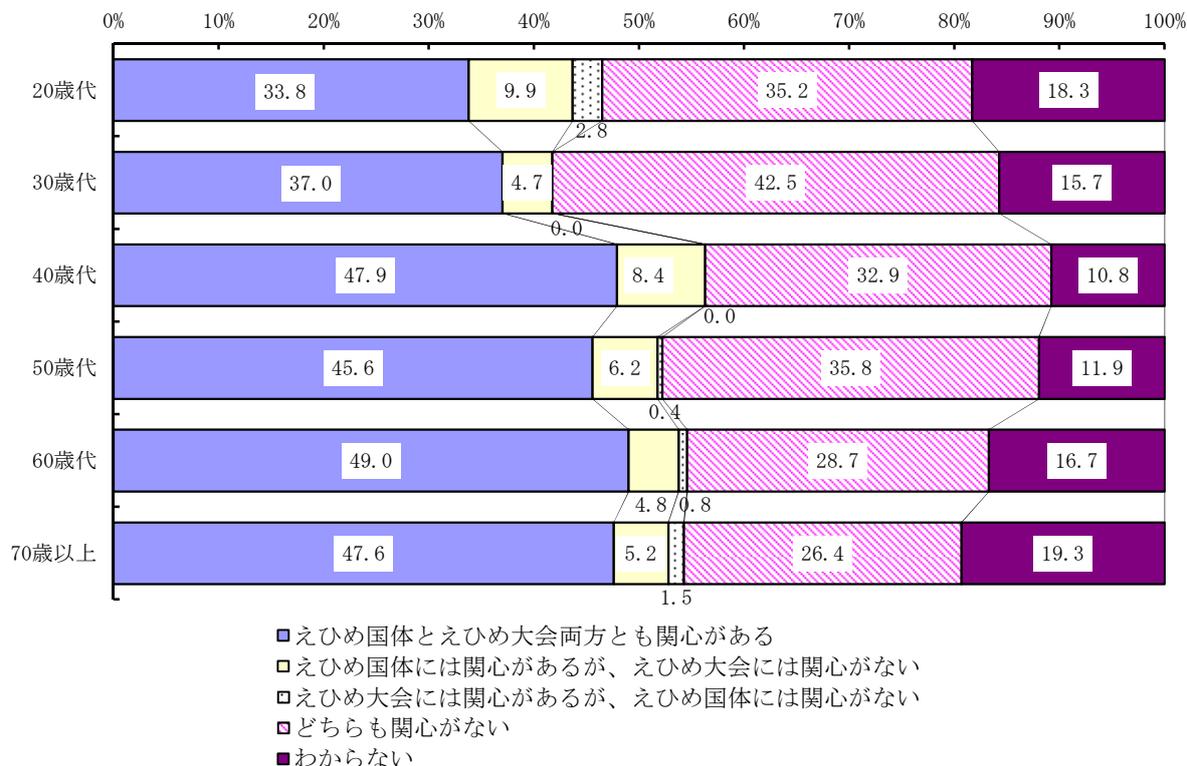
性別にみると、「えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない」と答えた人の割合は、男性（9.0%）の方が女性（4.0%）より5.0ポイント多く、「どちらも関心がない」は、女性（33.7%）の方が男性（29.8%）より3.9ポイント多くなっている。



### 【年齢別】

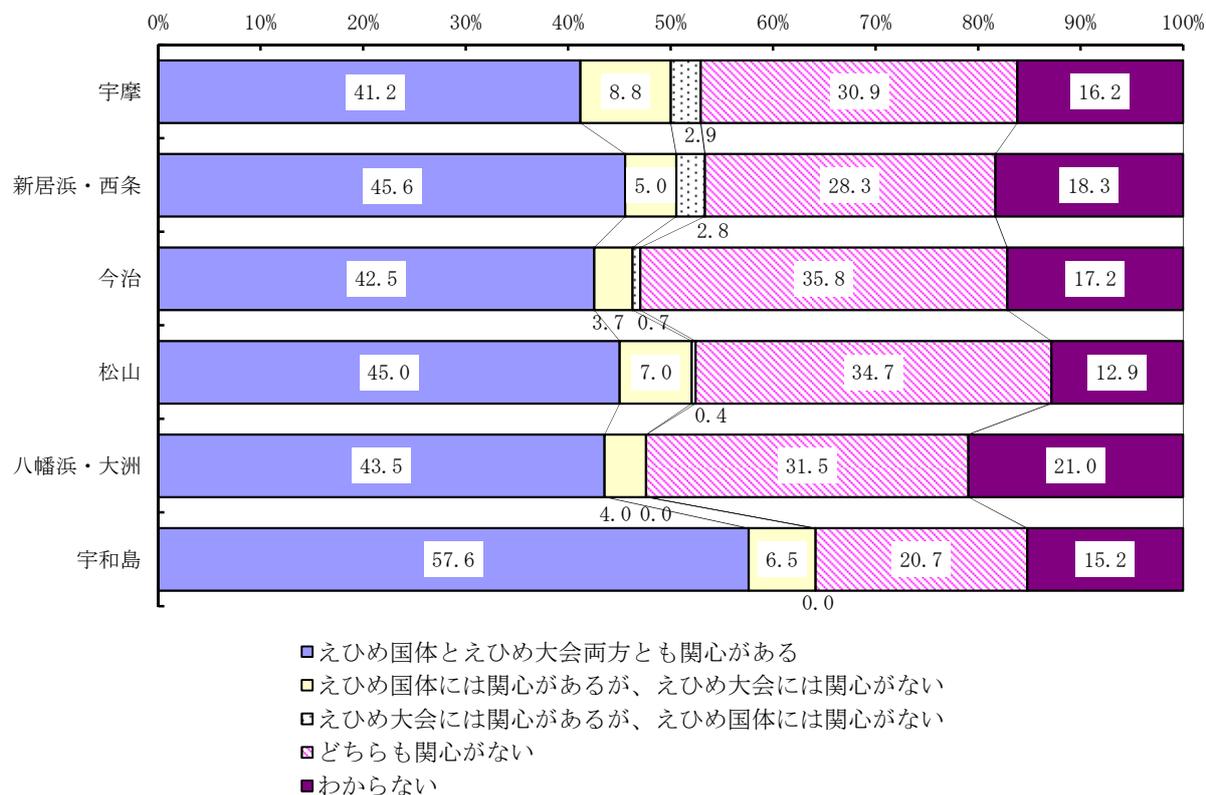
年齢別にみると、20歳代及び30歳代を除く全ての年齢層で「えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある」と答えた人の割合が最も多く、20歳代及び30歳代では「どちらも関心がない」が最も多くなっている。

また、「どちらも関心がない」は、30歳代（42.5%）で他の年齢層と比較して多くなっている。



### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「えひめ国体とえひめ大会両方とも関心がある」と答えた人の割合が最も多く、宇和島圏域（57.6%）で他の圏域と比較して特に多くなっている。



### 問35-1 えひめ大会に関心がない理由

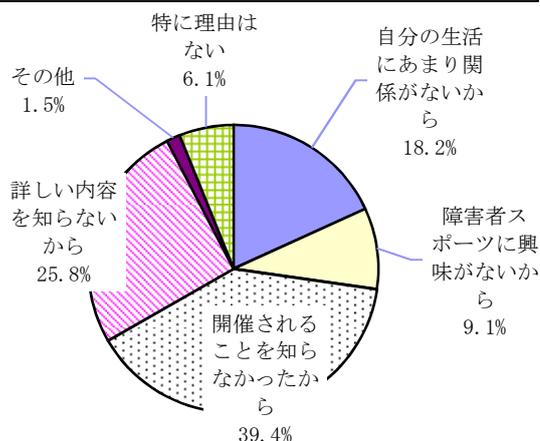
えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない理由について、次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=66人(注)) (%)

1	自分の生活にあまり関係がないから	18.2
2	障害者スポーツに興味がないから	9.1
3	開催されることを知らなかったから	39.4
4	詳しい内容を知らないから	25.8
5	その他	1.5
6	特に理由はない	6.1

(注) 母数が少ないため、性別、年齢別等のクロス集計は省略

問35で、「えひめ国体には関心があるが、えひめ大会には関心がない」と答えた人を対象に、その理由を聞いたところ、「開催されることを知らなかったから」と答えた人の割合が39.4%と最も多く、以下「詳しい内容を知らないから」(25.8%)、「自分の生活にあまり関係がないから」(18.2%)、「障害者スポーツに興味がないから」(9.1%)、「特に理由はない」(6.1%)、「その他」(1.5%)の順となっている。



### 問35-2 えひめ国体に関心がない理由

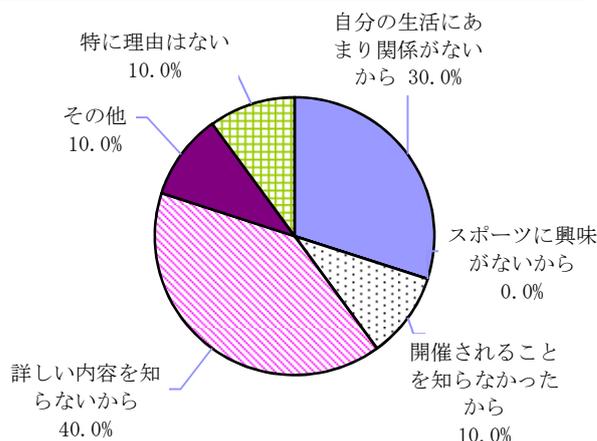
えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない理由について、次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=10人(注)) (%)

1	自分の生活にあまり関係がないから	30.0
2	スポーツに興味がないから	0.0
3	開催されることを知らなかったから	10.0
4	詳しい内容を知らないから	40.0
5	その他	10.0
6	特に理由はない	10.0

(注) 母数が少ないため、性別、年齢別等のクロス集計は省略

問35で、「えひめ大会には関心があるが、えひめ国体には関心がない」と答えた人を対象に、その理由を聞いたところ、「詳しい内容を知らないから」と答えた人の割合が40.0%と最も多く、以下「自分の生活にあまり関係がないから」(30.0%)、「開催されることを知らなかったから」(10.0%)、「その他」(10.0%)、「特に理由はない」(10.0%)、「スポーツに興味がないから」(0.0%)の順となっている。



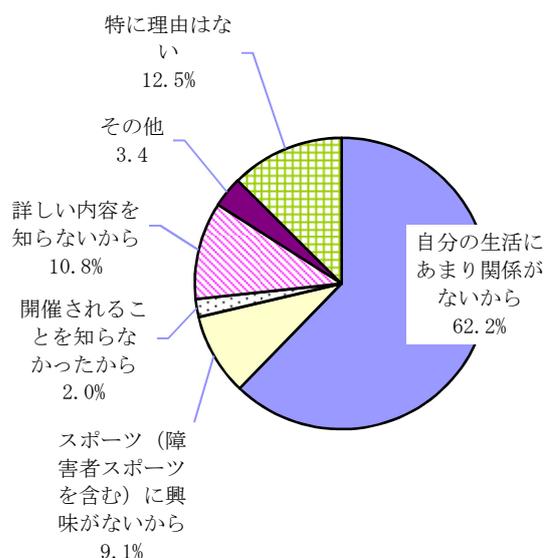
### 問35-3 えひめ国体及びえひめ大会に関心がない理由

えひめ国体及びえひめ大会のどちらも関心がない理由について、次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

(回答者=352人) (%)

1	自分の生活にあまり関係がないから	62.2
2	スポーツ（障害者スポーツを含む）に興味がないから	9.1
3	開催されることを知らなかったから	2.0
4	詳しい内容を知らないから	10.8
5	その他	3.4
6	特に理由はない	12.5

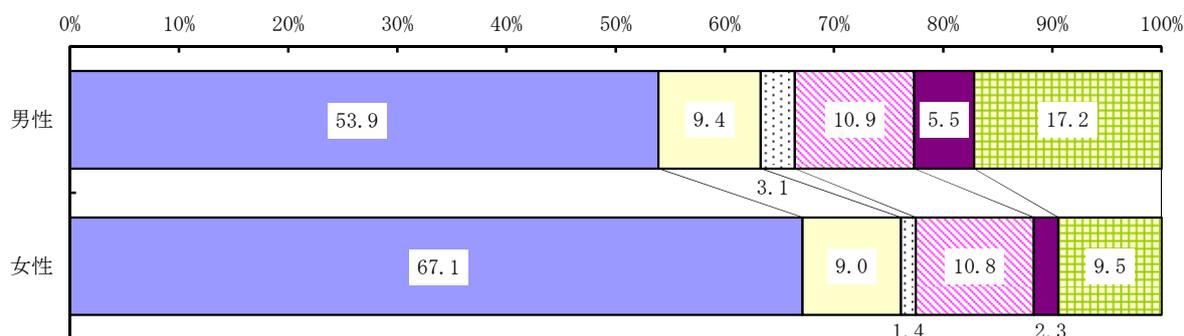
問35で、「えひめ国体及びえひめ大会のどちらも関心がない」と答えた人に、その理由を聞いたところ、「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が62.2%と最も多く、以下「特に理由はない」（12.5%）、「詳しい内容を知らないから」（10.8%）、「スポーツ（障害者スポーツを含む）に興味がないから」（9.1%）、「その他」（3.4%）、「開催されることを知らなかったから」（2.0%）の順となっている。



#### 【性別】

性別にみると、男女共に「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が最も多く、女性（67.1%）の方が男性（53.9%）より13.2ポイント多い。

また、「特に理由はない」と答えた人の割合は、男性（17.2%）の方が女性（9.5%）より7.7ポイント多くなっている。

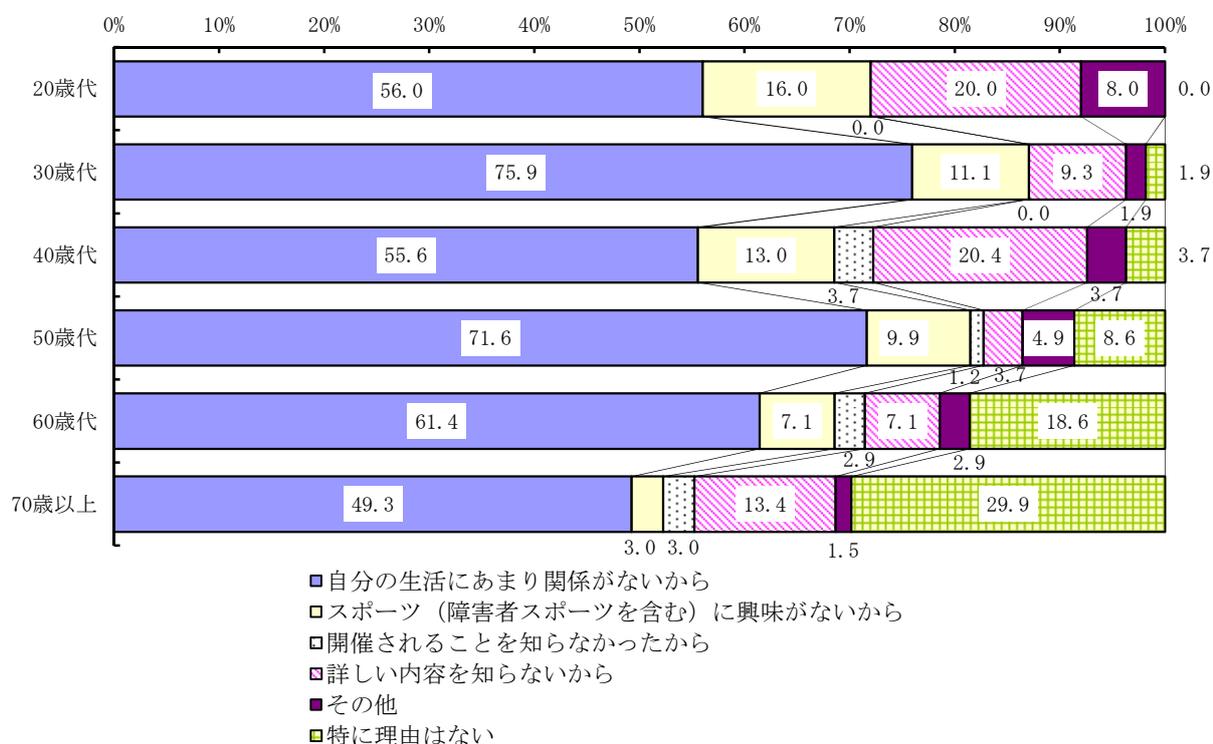


- 自分の生活にあまり関係がないから
- スポーツ（障害者スポーツを含む）に興味がないから
- 開催されることを知らなかったから
- 詳しい内容を知らないから
- その他
- 特に理由はない

### 【年齢別】

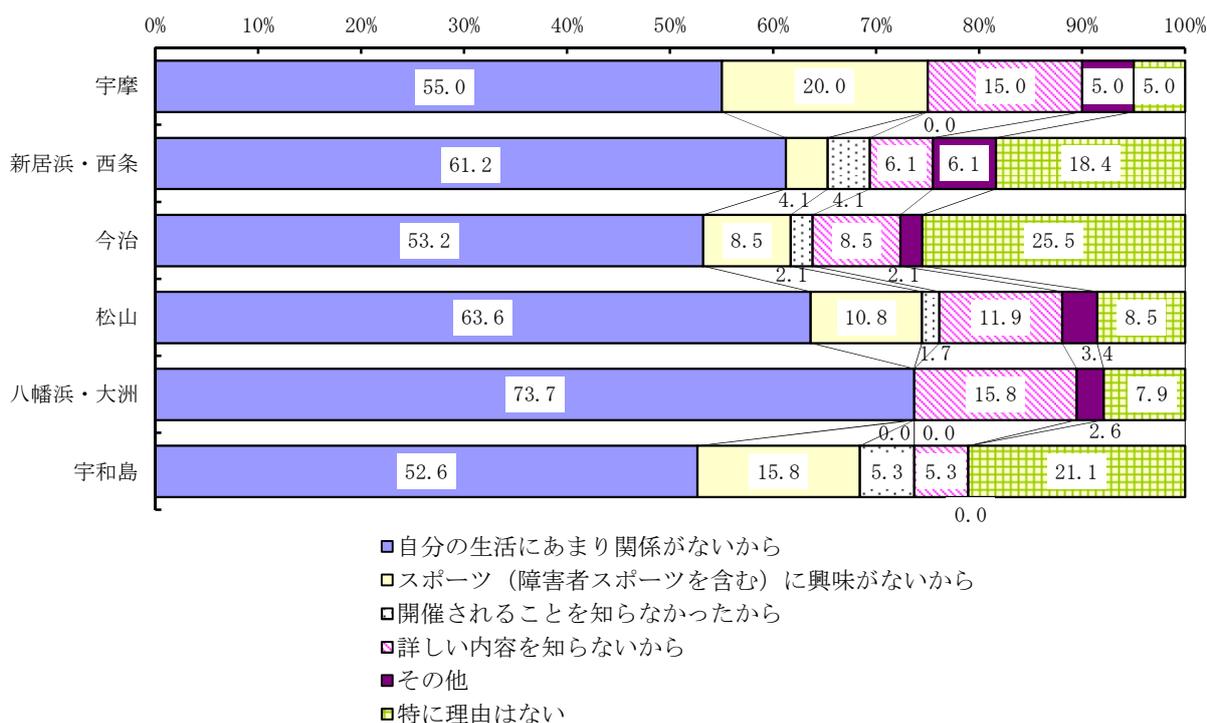
年齢別にみると、全ての年齢層で「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が最も多く、30歳代（75.9%）及び50歳代（71.6%）で他の年齢層と比較して特になくなっている。

また、「スポーツ（障害者スポーツを含む）に興味がないから」と答えた人の割合は、概ね年齢層が低くなるほど多くなっている。



### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「自分の生活にあまり関係がないから」と答えた人の割合が最も多く、八幡浜・大洲圏域（73.7%）で他の圏域と比較して特になくなっている。



**文化財への関心度**  
**問36 文化財の見学状況**

あなたは、過去1年間（平成26年1月から平成26年12月まで）に、国・地方公共団体が指定・選定を行っている文化財を見学したことがありますか。次の中から**一つ選んで**番号を○で囲んでください。

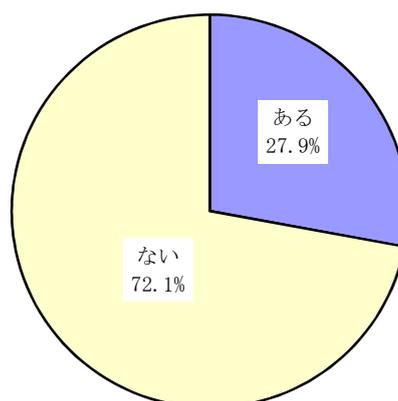
- |   |    |      |     |
|---|----|------|-----|
|   |    |      | (%) |
| 1 | ある | 27.9 |     |
| 2 | ない | 72.1 |     |

どのような文化財を見学されましたか。見学した文化財の種類について、次の中から**いくつでも選んで**番号を○で囲んでください。

(回答者=306人) (複数回答) (%)

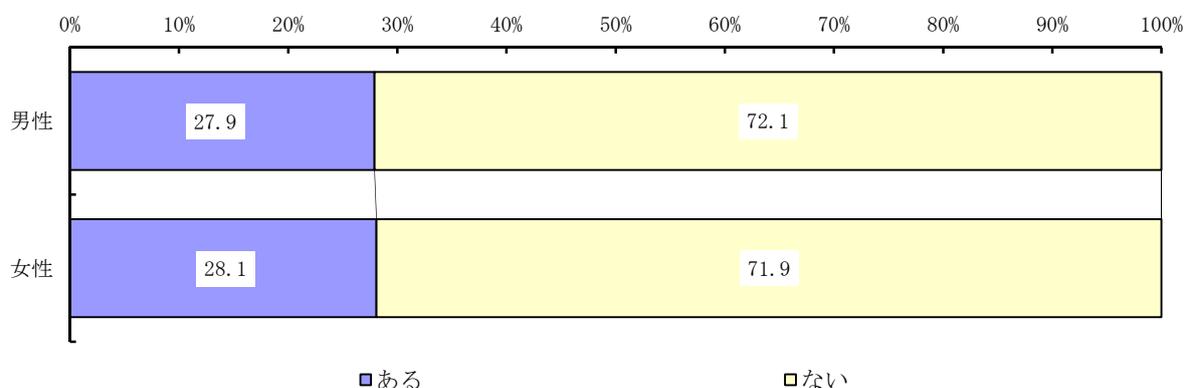
- |   |                     |      |
|---|---------------------|------|
| 1 | 建造物                 | 68.6 |
| 2 | 絵画・彫刻・古文書等の美術工芸品    | 32.7 |
| 3 | 工芸技術・音楽・舞踏等の無形文化財   | 10.8 |
| 4 | 伝統芸能・祭礼・年中行事等の民俗文化財 | 30.4 |
| 5 | 史跡・名勝地・天然記念物        | 56.2 |
| 6 | 棚田・段畑等の文化的景観        | 19.9 |
| 7 | 伝統的建造物群保存地区         | 22.2 |

過去1年間（平成26年1月から平成26年12月まで）に、国・地方公共団体が指定・選定を行っている文化財を見学したことがあるかを聞いたところ、「ある」と答えた人の割合が27.9%、「ない」が72.1%となっている。



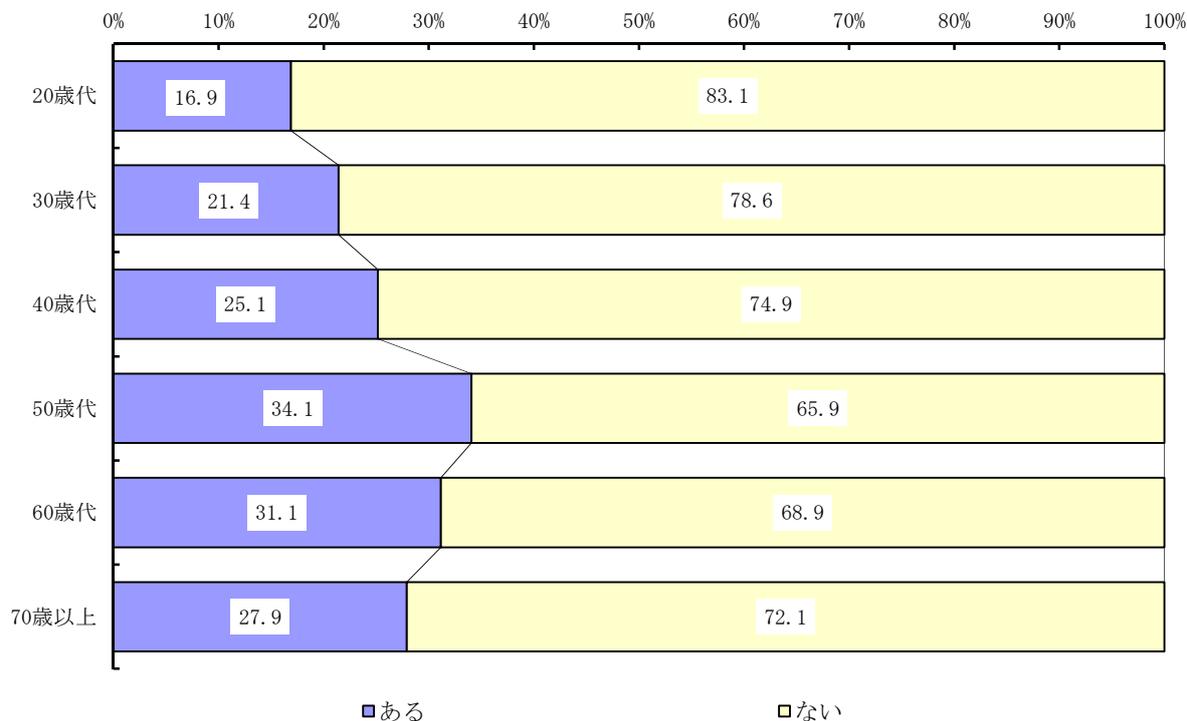
**【性別】**

性別にみると、「ある」と答えた人の割合は男女共に少なく、男性（27.9%）と女性（28.1%）でほぼ同数となっている。



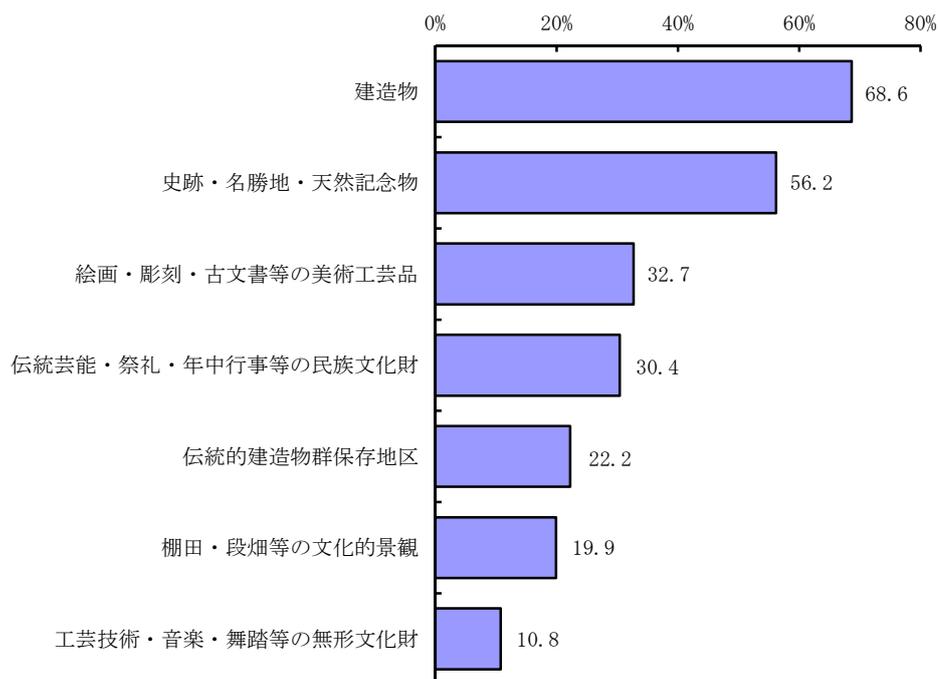
### 【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「ない」と答えた人の割合が多く、20歳代（83.1%）で他の年齢層と比較して多くなっている。



### 《見学したことがある文化財》

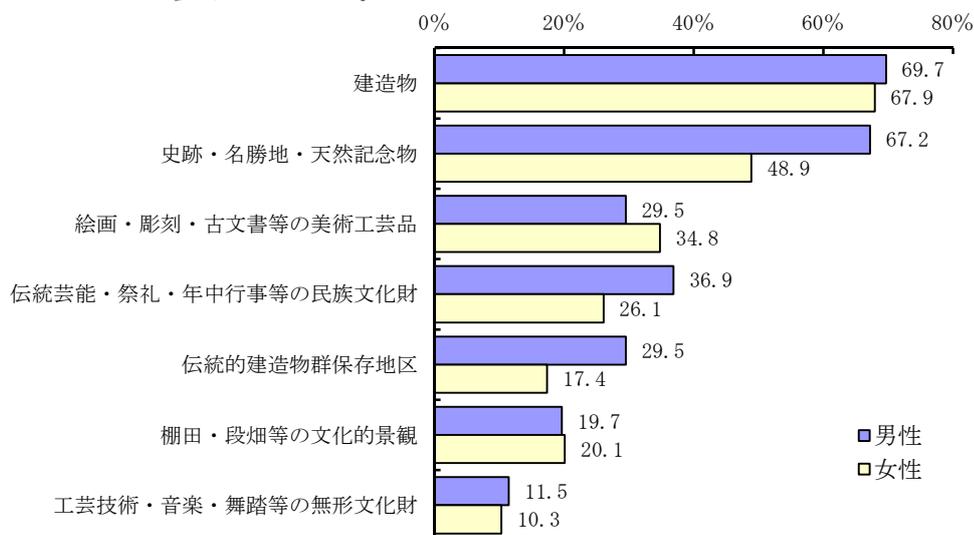
問36で、「ある」と答えた人に、見学したことがある文化財を聞いたところ、「建造物」と答えた人の割合が68.6%と最も多く、以下「史跡・名勝地・天然記念物」（56.2%）、「絵画・彫刻・古文書等の美術工芸品」（32.7%）、「伝統芸能・祭礼・年中行事等の民俗文化財」（30.4%）などの順となっている。



## 【性別】

性別にみると、「建造物」と答えた人の割合は、男性（69.7%）と女性（67.9%）でほぼ同数となっている。

また、「史跡・名勝地・天然記念物」と答えた人の割合は、男性（67.2%）の方が女性（48.9%）より18.3ポイント多く、「絵画・彫刻・古文書等の美術工芸品」は、女性（34.8%）の方が男性（29.5%）より5.3ポイント多くなっている。



## 【年齢別】

年齢別にみると、70歳以上を除く全ての年齢層で「建造物」と答えた人の割合が最も多く、70歳以上は、「史跡・名勝地・天然記念物」が最も多くなっている。

また、「伝統芸能・祭礼・年中行事等の民俗文化財」と答えた人の割合は、60歳代以上で他の年齢層と比較して多くなっている。

